

都市計新聞

発行者：
多久和，穴山
歌田，川添
福岡，村上

行動モデル夏の学校

倉内研 限界突破

9月の23、25日の3日間にわたって、東京大学が主催する「行動モデル夏の学校」が現地とオンラインのハイブリッド形式で開催された。私たち愛媛大学はオンラインで参加し、行動モデルや推定プログラムに関する講義を受講し、実際のプロトタイプを組んだ。

講義については、国内の有名大学の講師の方のみならず、海外でご活躍されている分野を代表する方々から、濃密な講義を受け大変勉強になった。

課題については、各大学で決めたテーマに沿って、与えられたデータを用いて、離散選択モデルをはじめとした行動モデルの構築と推定を行い、交通政策分析を行った。私たち愛媛大学は天候による交通手段選択をテーマに、天候別の交通手段選択の現状を把握した。そして、多項ロジットモデルを用いて、雨天時の交通手段選択の変化を推定し、移動手段の転換を図る政策シミュレーションを行った。

本合宿を通して、プログラミングスキルの向上は勿論、卒業研究にとっても有益な経験になった。



↑課題発表をしている様子



↑タイトル「i=∞ endo:」



↑浮腫みなど気にせずピザを食らう

仲良し、倉内研旅行 南予にいったんよ

宇和米博物館での雑巾がけ体験と木屋旅館宿泊を目的に倉内研旅行を行った。宇和米博物館には日本一長い木造校舎の109mの廊下があり、雑巾がけ体験ができる。6人で挑戦したが想像以上に過酷で途中で止まりながらなんとか完了した。倉内研最速タイムは穴山氏の30秒だった。(この雑巾がけのタイムを競うZリーグランプリが10月30日に開催されます。都市計からも参加予定です。興味のある方は倉内研までお声掛けください！)

雑巾がけ体験のあとは、宇和島市中心部に近いながらも国の登録有形文化財に指定されている木屋旅館に向かった。一日一組一棟貸し切りで自由な時間を過ごすことができる。木屋旅館は明治44年に創業され、以来、政治家では犬養毅、作家では司馬遼太郎など数々の著名人が宿泊していた。平成24年春にリニューアルされた、100年の歴史をもつアートエンターテイメント空間として人気の観光地となっている。透明の床が随所に施されたり、幻想的な光の空間があったりと広々とした歴史ある建物を楽しむことができた。



都市計OB情報

今回は2019年度に卒業された先輩に

インタビュー



大変だったこと楽しかったこと、たくさん思い出があり、授や研究室の方々の飲み会が一番の思い出です！
学生時代にやってあげばよかったこと、もう少し勉強を頑張っておけばよかったこと

先生方へのメッセージ
先日の業界研究会の時に少しご挨拶させていたのですが、またゆっくりお話ししたいです。ぜひ飲みに行きましょう！

名前 大井梨紗子
卒業年度 2019年度
勤務先 四国建設コンサルタ
ント株式会社
仕事内容 水工・環境部とい
う部署に所属し、堤
防護岸の設計や洪水
浸水想定図の作成、
公園の園路設計など
の業務に取り組んで
います。

たなど思います。基礎的な内容でもしっかり理解できていれば、すごく仕事に役立ちました。ありがとうございます。

社会の断面

「全国旅行支援」始まる

政府が実施する全国を対象とした観光需要喚起策である「全国旅行支援」が10月11日より始まった。旅行代金の4割が割引され、クーポンを含めて1人1泊あたり最大1万1000円の補助を受けることができる。また、各地方自治体独自の支援策も併用することで料金負担をさらに抑えることが可能である。開始後初の週末を迎えた15日、京都駅周辺は

前年同期の土曜日に比べて20%増加、博多駅周辺は16%増加するなど主要観光地の人出は軒並み前年同期を上回った。松山市道後地区でも東京や大阪、九州など遠方から来た家族連れや若者のグループなど多くの観光客でにぎわった。この全国旅行支援をきっかけに松山をはじめとした観光地は徐々にコロナ禍以前の活気を取り戻していかねばならないだろうか。

研究紹介

選択の正当化が意思決定に及ぼす影響の分析と交通政策への示唆

M2 多久和昌宏

皆さんは生活の中で選択肢が多く選択に困った経験はないだろうか。人々の選択行動のモデル化には、選択結果が最適となる選択肢を選ぶ効用最大化理論が多く用いられている。しかし、選択肢が多い状況下において結果の最適性よりも選択理由として「一番人気がある」

車載センシングデータを用いた高速道路運転時の眠気検知手法に関する研究

B4 穴山翔

私は、高速道路の事故原因の約半数を占める漫然運転を防止するために、車載センシングデータを用いた眠気検知手法に関する研究を行っている。ここで、車載センシングデータとは、主に速度や位置情報などの車両挙動データ、ステアリング操舵量などの運転操作データ、車間距離などのその他のデータのことである。そして、車載センシングデータには、実際に導入されているETC2.0等から得られるデ

運転に対する自信が高速道路利用意識に及ぼす影響の分析

B4 歌田朱音

私は運転に対する自信が高速道路利用意識に及ぼす影響について研究している。先行研究より、運転に対する自信は高速道路利用意向や事故などさまざまなものに影響を与える可能性があるが依然として判明していないことも多い。そこで、私は「運転に対する自信が高速度道路利用意識に及ぼす影響」を

高速道路DS実験によるADHD傾向者の運転特性と意識の分析

B4 川添綾夏

私はドライビングシミュレータ(DS)を用いて高速道路におけるADHD傾向者の運転特性と意識について研究している。ADHDとは不注意や多動・衝動といった特性のある発達障害のことである。大きく不注意型と多動・衝動型に分類できるが、症状の程度は人それぞれといわれている。私の

簡易脳波計を用いた運転時の眠気度指標の開発と眠気抑制手法の検討

B4 福岡真優

私は簡易脳波計を用いて高速道路運転時のドライバーの眠気抑制手法の検討を行うことを目的とした研究を行っている。簡易脳波計は一般的に精度が高く、正しい脳波を計測できるとされているが他の影響により脳波にノイズとして反映されたりエラー値が計測されたりしてしまいうことも多い。そ

眠気検知デバイス装着下での実運行データによる高速道路運転時の眠気特性の分析

B4 村上航大

私は高速道路で発生した法令違反別交通事故の割合にて約半数を占める前方不注意に着目。その要因と考えられる眠気による漫然運転の現状把握、そして眠気への影響要因の抽出について研究を行っている。今回の研究にて強みともいえる点が、実道路での実運行時のデータを活用するという点だ。

十月誕生日

- ・名前 寺川佳奈子
- ・誕生日 10月6日
- ・一年の目標 おいしいご飯をたくさん食べる！

- ・名前 砂侑奈
- ・誕生日 10月12日
- ・一年の目標 自分に厳しく！痩せる！

パリ旅行記①

9月下旬、秋とは思えない残暑の中、私は海を渡った。約30時間に及ぶ移動の末にたどり着いたのは芸術の都、パリ。日本とは打って変わって、冬の訪れを知らせるような寒さが身に沁みる。初めて降り立った異国の地で待っていたのは圧巻の光景。綺麗な彫刻が施された石造りの建物、おもしろいパン屋さんにお洒落な雑貨店。どこを切り取っても映える以外の選択肢が見当たらない。さあどこへ行こう。6日間の旅が始まる…

